

令和元年度 第3回学校運営協議会 議事録

日 時 令和元年11月13日(水)15:30～16:30

場 所 逗子高等学校 会議室

<出席者>

(委員) 角田、高橋、村川、波多野、大下 (敬称略)

(学校) 校長、副校長、教頭、事務長、木下、澤野、小池、藤井、下山田、新村

<議 事>

1 校長あいさつ

- ・9月の文化祭(グリーン祭)は、本校生徒の主体的な活動が見られ、来校者も多く好評であった。9月末には指定校推薦を実施した。3年生は今日現在、120～130人程度の進路が確定している。神大給費生試験もこれから始まる。1年生のワークショップ、2年生の地域インタビュー、3年生対象の逗子市長講演等も無事終了し、生徒にとってよい社会学習の機会となった。また、明日は芸術鑑賞会を予定している。
- ・大学入試英語成績提供システムに係る英語資格・検定試験の利用については、既にご承知の通り、同システムの導入を見送るとの文部科学大臣からの通達があった。しかしながら、本校では英語4技能の総合的な向上を目指して1,2年生の全員にGTEC試験を実施することになっている。

2 今年度の学校評価(中間評価)について

- ・「平成31年度学校評価報告書(中間報告)」について、視点ごとに当該グループリーダーから校内評価の概要について説明した後、委員の方々から学校関係者評価としてのご意見を頂いた。詳細は別紙「平成31年度学校評価報告書(中間報告)」を参照ください。
- ・時間不足で視点ごとの委員の方々から学校関係者評価としてのご意見を伺えなかったところについては、各部会ごと協議で継続してご意見を頂いた。

3 各部会ごとの協議

(1) 学力向上部会(角田、高橋、澤野、小池)

- ・本校は令和4年度末で完校する予定なので、今後の教育課程の大きな変更は考えていない。
- ・大学入試制度の変革などについての保護者への情報提供をこれまでも増して積極的に行うべきだ。
- ・教員間の授業見学を義務化するなど、さらなる授業改善の取組みを期待する。

(2) 地域連携部会(村川、大下、木下、藤井)

- ・今年度はワークショップ(1年)、地域インタビュー(2年)の各講師と学校担当者との連絡連携がスムーズに行えた。特にワークショップは、生徒・教員ともに積極的に取り組んだ姿勢が、講師の方々に好評であった。例年1月に行っているワークショップを10月に実施したことも好評であった。
- ・ワークショップや地域インタビュー中に撮影された生徒の写真の取扱いについて、講師と学校・生徒の間に認識のずれがあった。次年度は、事前の確認を徹底したい。

(3) キャリア部会(波多野、下山田、新村、福井)

- ・スタディサポートが効果的に利用されていない。生徒の取組に真剣みが欠ける。結果についての検証や今後の目標設定等もおざなりであると思う。
- ・多くの生徒が指定校推薦に頼りすぎと思われる。進路意識の向上を図る必要がある。

以上